

# 愛媛新聞

2020年(令和2年)  
2月29日  
土曜日

発行所 松山市大手町1丁目  
12-1 郵便番号790-8511  
愛媛新聞社  
電話 089(935)2111 受付案内台  
HP <https://www.ehime-np.co.jp/>  
© 愛媛新聞社 2020



平和への祈りをテーマに描かれた平山さんの版画展

## 平和の祈り感じて

### 内子平山郁夫さん版画展

戦後を代表する日本画家で文化勲章受章者の平山郁夫さん(1930〜2009年)の版画展「シルクロード 仏教伝来 平和への祈り」が28日、内子町平岡の五十崎自治センターで始まった。被爆体験に基づき平和の道としてシルクロードを描いた平山さんの版画など約40点が展示されている。3月2日まで。

平山さんは広島県尾道市瀬戸田町生まれで、1952年に現在の東京芸術大を卒業。中学生の時に学徒労働員先で被爆したこと、平和の大切さから、

テーマにシルクロードを実際に歩き、約160回にも及ぶ海外取材を重ね創作に励んだ。

会場には、薬師寺(奈良県)に奉納したシルクロードの道中を描いた「大唐西域壁画」や行商人がラクダに乗り列をなす様子を描いた代表作「パルミラ遺跡を行く」などが並び、「平山ブルー」と呼ばれる鉱物のラピスラズリで鮮やかな青色を表現した作品も並ぶ。

版画展はチャリティ絵画展などを手掛ける「ほるぶエアランドアイ」(大阪府)が全国で開催し、内子町は76カ所目。担当の細川則幸さんは「平山画伯の描いた平和を肌で感じてほしい、心を休めてほしい」と呼び掛けている。

入場無料。購入も可能で、収益の一部は日本ユネスコ協会連盟の「東日本大震災子ども支援募金」に寄付する。(薬師神亮太)

WIDE EHIME